

# 週報

<テーマ> 違いの中にキリストを告白する群れ

～ 響き合う礼拝とひろば ～

<年間テーマ> 主に望みをおき、出会い結び合わされて

<聖句>

イザヤ書 40:28～31

～主に望みをおく人は新たな力を得、鷲のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れない。

エフェソの信徒への手紙 4:16

キリストにより、体全体は、あらゆる節々が補い合うことによってしっかり組み合わされ、結び合わされて、おのおの部分は分に応じて働いて体を成長させ、自ら愛によって造り上げられてゆくのです。



## 「わたしの服に触れたのは誰か」

一雨ごとに秋が深まって来て、11月を迎えます。先週は深澤奨先生をお招きして特別集会和合同ひろばでの宣教・交わりを頂き感謝でした。きっと一週の間、皆さんの中でメッセージがこだまし振り返る時を与えられていたのではと想像します。改めて送り出して下さった佐世保教会の皆様には感謝いたします。

今日は切実な思いで主イエスに「会い」に行った女性と主イエスの出会いの箇所です。女性特有の病いで12年間も苦しみ苦しめられすべてを失っていました。イエスのことを聞いてどうしても近くに行きたいと思い立ちます。当時女性は公の場には出られず、病気の方は当時の捉え方で「罪人」であり、その人と接触することは触れた人も同じ立場にされました。彼女にはイエスに「会う」ことはできないのです。ただ服の端にでも触れられたら自分は救われるのでは、という切実な思いで向かい、やっと手を伸ばしそっと服の端に触れた女性は自分のからだが変わったのを感じました。しかしそれでは終わらなかったのです。イエスは探しました。わたしの服に触れたのはだれか、と。女性は恐る恐る進み出て自分がしたこと、起こったことを話します。イエスは言いました。娘よ、あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい、と。イエスは、その女性の思い、祈り、行動はイエスに届き、「神の受け入れの中にあなたはいる」という宣言をし、イエスとの出会いとつながりにして下さったのです。【井形英絵】

日本バプテスト連盟

神戸バプテスト教会

牧師 井形 英絵

主日礼拝

毎日曜日 午前 10:30～11:45

共育のひろば

第1・2日曜日 午前 11:45～12:40(成人クラスA・B・C)

第2・3・4日曜日 午前 11:45～12:40 (小学生クラス)

幼稚園C・S

日曜日 午前 9:00～10:20(11月10日、12月8日)

ひまわりひろば

日曜日 午前 9:00～10:20(11月10日、12月8日)

祈禱会

毎水曜日 午後 19:00～20:15

教会についてのお問い合わせ、バプテスマの希望や他教会からの転入、またご相談のある方は牧師、又は教会事務局までご連絡ください。

〒650-0003 神戸市中央区山本通 1-7-27 TEL078-231-7187 FAX078-221-5252

ホームページ: [kobe-church.com](http://kobe-church.com) 事務局Eメール: [jimukyoku@kobe-church.com](mailto:jimukyoku@kobe-church.com)



# 《 主日礼拝式次第 》

司会：西欣也 にしきんや 奏楽：西恵美 にしえみ

\*印はご起立願いますが、体調の悪い方などはお座りのままご参加ください。

	ぜん		そう		そう	がく	しゃ
	前		奏		奏	楽	者
	か	かい	しよ		せい	か	たい
	開	会	唱		聖	歌	隊
*	さん	び	か	しんせい	いち		どう
	讃	美	歌	新生 47	「愛するわたしの主」	(2回繰返し)	同
	かん	げい	いの				
	歓	迎	祈				
	こう		どく	しへん	へん	せつ	いの
	交		読	詩編 4 2 編 2 ~ 1 2 節	「祈り」	3 面参照	どう
*	さん	び	か	しんせい			どう
	讃	美	歌	新生 286	「その名を聞くは」		同
	せい		しよ				
	聖		書	マルコによる福音書	5章 21 ~ 34 節		しゃ
							者
				(新約	しんやく	しんきょうどく	こうごやく
				新共同訳 P70	口語訳 P58 )		
	さ	ん	び				
	賛		美				
	せん		きよ				
	宣		教				
	「わたしの服に触れたのは誰か」						
	お	とう	いの				
	心	答	祈				
	せい		り				
*	さん	び		しんせい			どう
	讃	美		新生 480	「この世の重荷から」		同
	しゅ		ばん				
	主		餐				
	「わが主よ ここに集い」						
				はしさん	かわさき	ながせ	みぞうち
				配餐【川崎・永瀬・溝内・香西由】			こうさいゆ
	さ		の				
	献	げ		はしもと	まきの	ながたりつ	ながせ
				【橋本・牧野・永田律・永瀬】			
*	さん	び	か	いま			どう
	讃	美	歌	「今、ささぐる」	(下記参照)		同
	しゅ		いの				
*	主		祈	しんせいばんびひら	さんしよ		どう
				(新生讃美歌開き参照)			同
*	しよ		えい	せい			どう
	頌		栄	「聖なるかな」	(下記参照)		同
	しゅく		とう				
*	祝		禱				
*	ア	ー	メ	682-Ⅲ	「アーメン」		どう
	∞	∞	∞	∞	∞	∞	同

**「今、ささぐる」**  
 今、ささぐる  
 そなえものを  
 主よ きよめて  
 うけたまえ アーメン

**「聖なるかな」**  
 聖なるかな 聖なるかな  
 聖なるかな 主なる神  
 おかし いまし  
 いま いまし  
 とわ(永遠)にいます  
 主をたたえん

- ◆本日礼拝後12:00~共育のひろば、クリスマス委員会(2階)、13:00~建築委員会(東サイド)があります。
- ◆次週午後は拡大役員会があります。各会代表の方はご予約ください。
- ◆11月17日はこども祝福礼拝です。教会、幼稚園の子どもたちの祝福を共に祈りましょう。受付に案内がありますので、お知り合いのご家族をお誘いください。
- ◆11月25日(月)クリスマスリースを作る会を行います。詳細は案内をご覧ください。
- ◆11月26日(火)教会クリスマス用のリースを作成します。会堂後ろの箱にクリスマスリース作成のための材料を集めています。ご協力をお願いします。(赤い実・松ぼっくりなど)
- ◆光の丘幼稚園新入園児募集のために引き続きお祈りご協力よろしくお願いします。
- オンライン礼拝のためビデオ撮影を行っています。(10:27~終了まで) ○第1週は託児があります。○小さいお子様をお連れの方は礼拝堂2階でお子さまと一緒に礼拝をお守りいただくこともできます。

## 祈りの課題

- 1、先週特伝に来て下さった深澤奨牧師のお働きと佐世保教会の礼拝と福音宣教のお働きを覚えて。
- 2、神戸バプテスト教会 2024 年度福音宣教と諸計画諸活動のために。11月17日こども祝福礼拝のために。
- 3、光の丘幼稚園園児・保護者・教職員のために。新園児の募集を覚えて。
- 4、井形英絵牧師の働きと健康が守られますように。
- 5、能登半島豪雨・地震、宮崎地震、山形大雨災害、世界各地で被災された方々、支援にあたっておられる方々のために
- 6、イスラエル、パレスチナ、スーダン、ミャンマー、アフガニスタン、ウクライナとロシアなど紛争と戦争の只中にある方々の命が守られますように。すべての人々のいのちが尊重される自由と平和が実現しますように
- 7、台湾地震、モロッコ、リビアの災害、トルコ・シリア大地震で被災された方々の命と日々の生活が守られますように。
- 8、子どもたちの心と体の成長が守られますように。
- 9、病の中にある方、療養中の方、その方々を支えておられるご家族のために。
- 10、困難の中にいる方々と共に生きるすべてのキリスト教会と信徒の信仰生活の守りのために。
- 11、新会堂建築計画の導き。会堂建築委員会の働きのために。
- 12、これからの神戸教会のために。教会員が共に語り合い、主の御心を求めることができますように。

### 【連盟・連合・他教会の祈り】

- ◆日本バプテスト連盟の全国 316の教会・伝道所のために。特に連盟の機構改革と新しい体制での働きのために。第70回定期総会（2025年2月）と準備のために。
- ◆関西地方教会連合の36教会のために。2024年度の連合の働きのために。

## 交読 詩編 42 編 2-12 節「祈り」

涸れた谷に鹿が水を求めるように、神よ、わたしの魂はあなたを求める。

神に、命の神に、わたしの魂は渴く。

いつ御前に出て、神の御顔を仰ぐことができるのか。

昼も夜も、わたしの糧は涙ばかり。

人は絶え間なく言う、「お前の神はどこにいる」と。

わたしは魂を注ぎ出し、思い起さず、喜び歌い感謝をささげる声の中を、

祭りに集う人の群れと共に進み、神の家に入り、ひれ伏したことを。

なぜうなだれるのか、わたしの魂よ、なぜ呻くのか。神を待ち望め。

わたしはなお、告白しよう、「御顔こそ、わたしの救い」と。

わたしの神よ。わたしの魂はうなだれて、あなたを思い起さず。

ヨルダンの地から、ヘルモンとミザルの山から、

あなたの注ぐ激流のどろろきにこたえて、深淵は深淵に呼びわり、

砕け散るあなたの波はわたしを超えて行く。

昼、主は命じて慈しみをわたしに送り、

夜、主の歌がわたしと共にある、

わたしの命の神への祈りが。

わたしの岩、わたしの神に言おう。「なぜ、わたしをお忘れになったのか。

なぜ、わたしは敵に虐げられ、嘆きつつ歩くのか。」

わたしを苦しめる者はわたしの骨を砕き、

絶え間なく嘲って言う、「お前の神はどこにいる」と。

なぜうなだれるのか、わたしの魂よ、なぜ呻くのか。神を待ち望め。

わたしはなお、告白しよう、

「御顔こそ、わたしの救い」と。

わたしの神よ。